

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和6年度報告)

市町名: 東広島市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績									事業実施主体の評価	
										獣種	被害金額			被害面積			処理頭数			
											目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値		達成率
東広島市有害鳥獣 捕獲対策協議会		R3年度	イノシシ	箱わな購入	23基	協議会	R3.11.18	100%	箱わなの設置後に捕獲数が増加しており、わなの設置による効果が認められる。	全体	万円	万円	%	ha	ha	%				
		R4年度	イノシシ	箱わな購入	22基		R5.2.20	100%		イノシシ	2,862	3,372	29	33	51	-125				
		R5年度	イノシシ	箱わな購入	30基		R5.12.20	100%		シカ	2,497	2,727	63	29	40	-57				
東広島市	東広島市	R3年度	イノシシ、シカ	ワイヤーメッシュ柵の整備	地区数6 H=1m、2m L=5,548m	設置集落、 農業法人	R4.2.25	100%	柵を設置した集落等では、柵の設置後は有害鳥獣による被害が減少していると報告を受けており、侵入防止柵の設置による効果が認められる。	スズメ、その他鳥類	265	638	-457	3	11	-1,043				
		R4年度	イノシシ、シカ	ワイヤーメッシュ柵の整備	地区数2 H=1m、2m L=7,081m		R5.2.20	100%			98	7	479	1	1	100				
		R5年度	イノシシ	ワイヤーメッシュ柵の整備	地区数2 H=1m L=3,450m		R6.3.6	100%												

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

注3)被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組(販売拡大支援)」のメニューを活用した場合に記載してください。

2 第三者の意見

コメント:  
東広島市の鳥獣による農作物被害金額は、令和3年度は2,459万円であったが、令和4年度から農業共済の加入方式に変更があり、被害額の算定方法を変更したため、令和4年度は4,013万円に増加しているが、令和5年度には3,371万円まで減少した。  
被害の大部分を占めるイノシシ、シカについては、捕獲頭数は令和3年度の3,968頭から令和5年度には4,238頭と増加しており、箱わなの導入効果が認められる。今後は、箱わな購入とともに、効果的な箱わなの設置方法について勉強会を行うなどソフト面の充実により、更なる捕獲技術の向上にも取り組んでいただきたい。また、潜み場となる茂みをなくすなどの「環境改善」、「侵入防止」、「加害個体の捕獲」をバランスよく実施する必要がある。特に環境改善については、農業者自らが主体的に取り組む必要があり、学びの場を設けて、農業者の意識改革を促すことが重要である。また、ワイヤーメッシュ柵については、より効果を高めるため、集落単位等で取り組むよう、より一層の働きかけをお願いする。イノシシ以外の鳥獣についても勉強会を行い、エサとなる放任果樹や潜み場をなくすなど、住民自らが、できることから取り組む鳥獣被害対策を進めていただきたい。  
(広島県西部農業技術指導所 参事 檜垣 慶史)

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。